



総研大ニューズレター

第25号 2010.6 発行

● 目次

- 【今月のトピック】 「平成22年度（前学期）学生セミナー「Re:」開催
学融合推進センター」
「湘南国際村フェスティバル2010開催 総務課」
「小林ホール記念シンポジウム開催 高エネルギー加速器研究機構」
「高強度レーザーによるウンルー効果の検証
高エネルギー加速器研究機構」
「『長倉三郎初代学長を囲む会』開催 総務課」
「横須賀高校アカデミア 第1回特別講義開催 総務課」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

6月19日、26日、7月8日

高エネルギー加速器科学研究科 大学院説明会

6月26日 総研大サイエンスカフェ（湘南国際村センター）

6月28日 宇宙科学専攻 専攻説明会

7月9日 統計科学専攻 大学院説明会

7月11日 日本歴史研究専攻 大学院講演会

【今月のトピック】

「平成22年度（前学期）学生セミナー「Re:」開催」

<日時> 2010年(平成22年)4月8日(木)～4月9日(金)

<会場> 本学葉山キャンパス及び湘南国際村センター

<参加人数> 学生110名、教員44名、計154名

関東は、四月に入っても寒い日が続き、セミナー前日もあいにくの雨でした。しかし、当日になると前日の風雨が嘘のようで、若干雲があるもののきれいな晴れ間が見え、外は穏やかな風が吹いていました。

セミナー会場で準備を進めていると、委員に促され、新入生の皆さんが会場へと入場してきました。どなたを見ても新入生らしく目を輝かせ、これから始まる新しい学生生活への希望がみとれたと同時に、我々もきっと同じようにしてセミナーに臨んでいたのだろうと、昨年が思い起こされました。



本年度セミナーのテーマは、「Re:」です。よくメールの題名に使われるように、「返信」や「応答」という意味が込められている他、「Relationship」・「Realization」・「Researcher」という三つのメッセージが、同時に込められています。セミナーでは新入生をグループ分けし、それぞれのメッセージを表すセッションがここに始まりました。

第一日目、最初のセッションは「他分野との交流」を目的として、各グループメンバーによる他己紹介を経て、実際に自己紹介を行いました。このセッションでは、他分野同士の相違点と、意外な共通点を互いに見出すことが出来、イメージという枠組みを超えて、相互理解の第一歩となったのではないのでしょうか。セッションを通し、短い時間の中で作業を行い、緊張した面持ちから笑顔や笑い声が出始め、新入生の皆さんの緊張もうまくほぐれたところで懇親会となりました。

新入生同士だけではなく、諸先生方や委員も交えた懇親会を経て、次の第二セッションが始まりました。「我を知る」と題されたセッションでは、自分自身を「もの」に譬え、各々がグループメンバーに対し、アピールを行うという内容です。新入生の皆さんが作業をし、互いに発表し合う姿を、セミナーに参加された先生方も興味深く御覧になっていました。自分をアピールするという作業は、自身の研究成果を発表しなければならない今後の研究生生活においても、大きく役立つ経験となったと思います。

第二日目の朝、前日の疲れを感じさせない軽い足取りで、新入生の皆さんは再び会場へ入ってきました。「研究者として重要なこと」とは何か。この質問に答えることは、簡単なようではありません。そこで、全員で研究者として重要なこととは何かを模索することとなりました。まずグループでディスカッションを行い、その後三人の講師の方々が皆さんのために提示した「重要なこと」について、講師と参加者と一緒になってパネルディスカッションを行いました。これらのアクティビティを通して、何が重要であるかを一生懸命考える新入生の姿は熱意にあふれ、見ているこちらにも熱くなりました。セッションも終わりに近づいた時、今回の参加者それぞれが思う大切なことをハチマキに書き、頭に巻いてお互いの熱意とともに発表を行いました。



研究生生活でつまづいた時や苦しい時には、ぜひこのハチマキを頭にまいて頂きたいです。このセミナーを思い出し初心に立ち返り、また前へと進む力になれば、これほど嬉しいことはありません。

すべてのセッション終了後、新入生とセミナー委員で写真撮影を行いました。出来あがった写真を見ると全員すがすがしい笑顔で、新入生の皆さんにとってもセミナー委員にとっても、充実したセッションとなったことがわかりました。

総研大は他大学に比べ、まだまだ歴史の浅い大学院大学です。このセミナーが毎年度続き、総研大生同士の絆を深める機会となる良い伝統として続いていきますよう、心よりお祈りいたします。



【総合研究大学院大学 HP より転載】

「湘南国際村フェスティバル 2010 が開催されました」

- 5月3日（月/祝）（会場：総研大葉山キャンパス）
- ◆ 講演会 講師：渡邊正勝 先導科学研究科 教授
13:00～14:30 2階講義室
テーマ：「微生物の美しい眼の秘密」
 - ◆ サイエンスカフェ 15:30～17:30 テラス四季
テーマ：「科学を伝える」
 - ◆ 観望会 18:30～20:00 正面玄関入口付近
テーマ「春の夜空を楽しもう」
 - ◆ 総研大環境WG フリーマーケット 正面玄関入口付近

総研大葉山キャンパスのある湘南国際村で行われた地域交流イベント「湘南国際村フェスティバル 2010」において、5月3日（月/祝）に葉山キャンパスで上記のプログラムを開催しました。

○講演会 渡邊正勝 教授 「微生物の美しい眼の秘密」

地域の方を中心に約100名の参加がありました。講師として先導科学研究科の渡邊正勝教授を迎え、「微生物の美しい眼の秘密」と題して、ミドリムシなどの単細胞藻類（植物プランクトン）の性質について90分の講演を行いました。講演後には参加者から熱心に質問が飛び交い、盛況のうちに修了しました。



熱心に聴き入る参加者



渡邊正勝教授による講演

○サイエンスカフェ 「科学を伝える」

葉山キャンパス内のレストラン「テラス四季」で行われたサイエンスカフェには40名の参加がありました。眞山聡 学融合推進センター助教の司会・進行により、学生による最新の研究発表が行われました。

今回、話し手となる学生は葉山キャンパス以外に、宇宙科学専攻からも参加があり、多様なテーマの企画となり、参加者は終始リラックスした雰囲気により、科学への関心を深めた様子でした。



今回、サイエンスカフェで研究発表してくれた学生。左から桂有加子さん（生命共生体進化学専攻）、永岡健司さん（宇宙科学専攻）、萬歳明香さん（生命共生体進化学専攻）

○観望会 「春の夜空を楽しもう」

参加者は約40名。正面玄関入口前に小型望遠鏡を2台設置し、星の観測を行いました。

当日は、曇りがちで、観望会開催には、必ずしもよい条件ではありませんでしたが、雲の切れ目から「土星」や「火星」を観測することができました。また国立天文台からの観望会スタッフが、観測ができない事態に備えて用意していただいた、パワーポイント・データを上映していただいた、曇りが切れるまでの時間、月や星などについて説明を行いました。



曇ってしまったため室内で説明を聴く参加者

○総研大環境WGによるフリーマーケット

湘南国際村フェスティバルとあわせて、総研大環境WGによるフリーマーケットも開催されました。

学内から持ちよられた品物や本が中心でしたが、フェスティバルや講演会を訪れた方が立ち寄り、値段も安いこともあって、思いのほか好調な売れゆきでした。

収益は、葉山キャンパスの環境改善のために役立てられます。



フリーマーケットの様子

【文責：総務課】

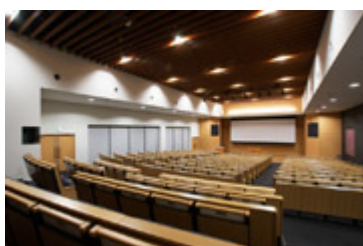
「小林ホール記念シンポジウムを開催」

小林誠特別栄誉教授のノーベル物理学賞受賞を記念して、研究本館に新たに設置した「小林ホール」の完成を記念したシンポジウムが4月21日（水）に同ホールで開催されました。

シンポジウムは機構長の挨拶で始まり、文部科学省の磯田文雄研究振興局長による来賓挨拶の後、東京大学大学院理学系研究科の相原博昭教授、同大学大学院工学系研究科の十倉好紀教授、及び平尾泰男東京大学名誉教授から素粒子・原子核研究、物質科学研究、加速器科学研究のそれぞれの分野の最先端と今後のKEKへの期待について基調講演が行われました。

最後に小林誠特別栄誉教授による特別講演が行われ、これからのKEKで目指す最先端研究への期待を述べていました。

会場には約150人の来場があり、来場者は新しいホールを体感しながら、講演に耳を傾けていました。



鈴木厚人機構長



磯田文雄研究振興局長



小林誠特別栄誉教授

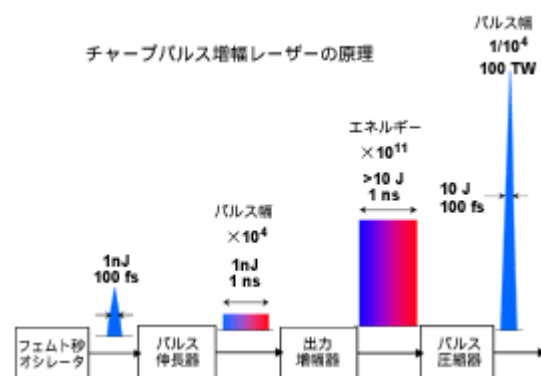
【高エネルギー加速器研究機構 HP より転載】

「高強度レーザーによるウンルー効果の検証 ～理論センターの新しい実験との関わり～」

KEKの理論センターは、素粒子・原子核物理学や弦理論、宇宙物理学などの研究に取り組んでいます。今回は理論センターでの、素粒子物理の範囲を超えた新しい実験との関わりについて紹介します。

飛躍的な伸びを見せるレーザー強度

1950年代に発明されたレーザーは、何度かのブレークスルーによりその強度が飛躍的に増大してきました。特に、1985年のストリックランド博士とモーロー博士によるチャープパルス増幅（CPA: Chirped Pulse Amplification）の発明により、レンズなどを損傷することなく高い出力を得ることができるようになりました。テーブルサイズの小型レーザー装置においてもCPAによって得られる超高強度・超短パルスレーザーにより、高いピーク出力が得られるようになりました。



チャープパルス増幅による高出力レーザー光の生成。

発振器で生成した超短のパルス幅を $10^3 \sim 10^4$ 倍に拡張して時間的に長くし、強度の低い光に変換する。その後、強度を一定値以下に保ちつつ増幅し、増幅後に再度パルス幅を短く（パルス圧縮）して、ピーク強度の高いレーザー光とする。超短パルス光はいろいろな波長の光の重ね合わせでできているので、これを回折格子で振り分け、波長により異なる光路長をとるようにすると、周波数を時間とともに長く変化（掃引、sweep）させたチャープ波に変換できる。増幅後はこれと逆の操作を行い、周波数掃引を元に戻し、短いパルスを回復する。

高強度レーザーは応用面での重要性のみならず、基礎物理学の探求においても重要な貢献をすることが期待されるようになってきました。特に、レーザーによる強い電磁場によりもたらされる屈折率の変化や、真空の物理研究、加速運動によるウンルー効果の検証などが注目されています。今回は、理論センターの磯暁教授にウンルー効果について聞いてみました。

ウンルー効果とは

磯教授によると、ウンルー効果とは真空中を等加速度直線運動している粒子に対し、その粒子が止まっているように一緒に走って観測すると、その粒子が有限な温度を持つ空間を運動しているように見える効果を言います。温度とはまわりに存在する多数の粒子が対象となる粒子と激しくぶつかることで生じる現象なので、真空という何もない状況で対象粒子が温度を感じるのはちょっと奇妙なことです。

これは、加速度系における真空の量子効果を考えると説明がつくということです。アインシュタインの一般相対性理論は、重力は加速度と同じであるという等価原理に基づく理論です。あまり考えたくない状況ですが、乗っているエレベーターのロープが切れて落下したとします。手のひらに乗っていたリンゴと一緒にあなたも落ちていきますから、リンゴの重さを感じなくなります。このように重力は観測している人の加速運動（エレベーターが落ち続けるということ）により、打ち消すことができ、また逆に、加速度を受けている場合に感じる力（例えば、軌道に上昇するロケットの中の宇宙飛行士がうける力）は重力とみなせる。この考えを「等価原理」と呼びます。



図2
切れたエレベーターの中の図。

加速運動をしている粒子は、この等価原理により重力を感じているのと同じです。この結果、加速運動をしている粒子は、ブラックホールのホライズン（それより内側からは光すら出てくることのできない境界面のこと）のそばにいるのと同じこととなります。ブラックホールはなんでも吸いこんでしまいますが、ホーキング博士によればブラックホールのまわりの真空からは、粒子と反粒子の対が生成され、その一方がブラックホールの中に落ち込み、もう一方が飛び出てくるという「ホーキング放射」が起きます。同じように、加速運動している粒子に対しても、対生成により粒子が生まれ、これが真空に温度をつくる「ウンルー効果」となるのです。

高強度レーザー中では、電子はレーザーの激しい電場により強い加速運動を受けます。これが等価原理により、ブラックホールのホライズンのそばにいるのと同じ状況になり、ホーキング放射によって生じた粒子の空間を運動することになる。それは温度を持った空間を運動することと同じこととなり、ふらふらとした「揺らぎ運動」を始めます。その揺らぎ運動からの電磁場の放射を観測することで、ウンルー効果の検証ができないか？これが1999年に提案された、チェン・田島のアイデアです。

量子力学による考察

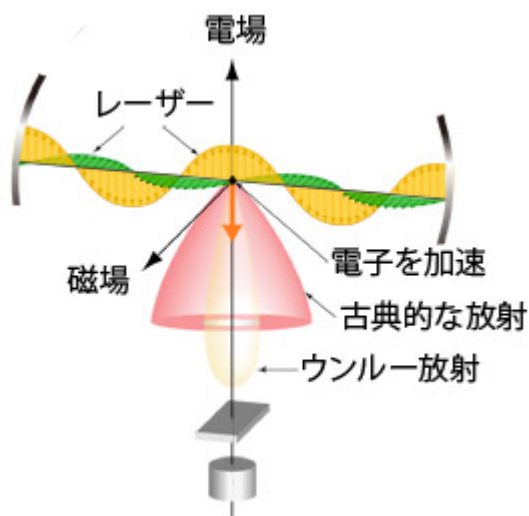


図3
高強度レーザーによるウンルー効果放射の概念図。

強いレーザーが実現されてきましたが、この放射は実験的にはまだ確認されていません。また理論的にも多くの問題点があることも知られていました。そこで磯教授は総合研究大学院大学の学生の中森さん、山本康裕さんと、この問題に対する系統的な解析方法を開発しました。そして非常に波長の長い光が出る時の発散の問題を解決し、高強度のレーザー中を加速運動することで電子が放射する古典的な放射と、ウンルー効果のための揺らぎ運動による量子力学的な放射とを統一的に計算できるようにすることで、チェン・田島の問題点を解決しました。しかしこの話は、さらに興味深い問題と関係します。それは、これまで取り入れられていなかった量子的な干渉効果と揺らぎ運動に起因する放射との間で相殺が起きて、実際には放射が消えてしまう可能性です。これは、量子的なコヒーレンス（量子状態を保つこと）の喪失とも関係しており、とても興味深い可能性です。

「今回、レーザーの実験を行う方々との議論により、レーザー物理で重力現象をとらえるという意外な可能性と出会いました」と磯教授。「理論物理は、決まったプロジェクトのもとで短期的な成果を求めれば進展するものではありません。研究者が独自のアイデアを持ち、それをじっくりと追及し、タコつぼにはまらないように広い視野で研究を進めることが重要です。実験を行っている研究者の方々とちょっとした刺激が新しいアイデアにつながることもあります。」今回の研究がきっかけとなり、理論センターと実験グループが共同して、高強度レーザーをつかった基礎物理学の探索についての国際会議を、今冬、開催する予定です。

【高エネルギー加速器研究機構 HP より転載】

「『長倉三郎初代学長を囲む会』が開催されました」

葉山キャンパスで去る5月7日、「長倉三郎初代学長を囲む会」が開催されました。長倉先生が湘南国際村を訪問された機会を利用して、高畑学長を始め教職員、学生など25名が参加し、長倉先生とフリーディスカッションを行いました。

及川図書館長の司会の下にまず、本学が創設された目的や経緯、設立にあたっての課題や問題点などをお話しされ、その後「研究の総合化とは」、「研究者の資質とは」など長倉先生の持論を熱く語られました。

フリーディスカッションでは、参加者から事業仕分け、ポストク問題など様々な質問が出され、それらの質問に対して長倉先生は丁寧にお答えされていました。

今年90歳になられるそうですが、お元気な様子で、長倉先生と初めてお話する方も多かったのですが、和気藹々とした雰囲気の中で、予定の2時間があっという間に過ぎてしまいました。

本学の創設の理念などを改めて認識するとともに、大学としてのあり方を考える良い機会になりました。また、次回機会を設けて、より多くの方に参加いただきたいと思います。



長倉三郎初代学長



フリーディスカッションの様子

【文責 総務課】

「横須賀高校アカデミア 第1回特別講義が開催されました」

平成22年5月10日（月）～11日（火）に湘南国際村の生産性国際交流センターで行われた神奈川県立横須賀高等学校の新入生宿泊研修において、高畑尚之学長による横須賀高校アカデミアの第1回特別講義が行われました。

横須賀高校アカデミアは総合研究大学院大学が横須賀高校と連携し、高校生の知的好奇心を広げ、自己探求を促すことなどを目的に、大学から講師を派遣し、次世代教育を支援していく事業です。

高畑学長は「進化から見た生命の本質」と「日本の学校制度の歴史」について講義を行いました。生徒たちはこの講義の内容について各グループで話し合いを重ね、その結果についてプレゼンテーションを行い、密度の濃い研修となっていたようでした。



高畑学長による特別講義



生徒達によるプレゼンテーション

【文責 総務課】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
国立天文台研究集会(第2回)	平成22年 6月30日(水)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000191.html		
国立天文台特別共同利用研究員(10月受入)	平成22年 9月1日(水)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000192.html		
国立天文台(大学支援経費)「委託研究」の募集	平成22年 6月18日(金)	国立天文台研究支援係
学融合推進センター 戦略的研究プロジェクト研究テーマ等公募	平成22年 6月30日(水)	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室
http://center.soken.ac.jp/outline/s61umn0000001bme.html		
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室
http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html		

【イベント情報】・オープンキャンパス, 入試説明会, 入試など大学行事に関わるもの。

6月

日程	時間	行事名	場所
3日(木)	17:00-19:00	情報学専攻:入試説明会	学術総合センター 特別会議室
4日(金) -5日(土)		生命共生体進化学専攻オープンキャンパス	葉山キャンパス
5日(土)	13:00-17:00	天文科学専攻:入試ガイダンス・公開講演会	京都リサーチパーク
16日(水)		JSPS サマープログラム2010開講式	湘南国際村センター 国際会議場
19日(土)	13:00-17:00	高エネルギー加速器科学研究科:大学院説明会	梅田スカイビル会議室(大阪市北区)22階会議室F
26日(土)	13:00-17:00	高エネルギー加速器科学研究科:大学院説明会	秋葉原コンベンションホール (千代田区外神田)カンファレンスフロア5B
26日(土)	14:00-16:00	サイエンス・カフェ 「素粒子の対称性とその破れ」	湘南国際村センター 第2研修室 主催:総合研究大学院大学 /かながわ国際交流財団
28日(月)	13:30 から	宇宙科学専攻:説明会	JAXA 宇宙科学研究所 研究管理棟 1階 入札・会議室(1134号室)

7月

日程	時間	行事名	場所
8日(木)	10:00-18:00	高エネルギー加速器科学研究科:大学院説明会	高エネルギー加速器研究機構(つくば市)研究本館・小林記念ホール
9日(金)	15:00-16:30	統計科学専攻:大学院説明会	統計数理研究所 2階 会議室1
11日(日)	13:00-17:00	日本歴史研究専攻:大学院講演会	明治大学アカデミーコモン 309A教室
28日(水)	14:00-16:00	中高生のための科学セミナー「チョウはなに を見ているの? -動物の感覚世界のふしぎ-」	横須賀市自然・人文博物館 講座室 主催:総合研究大学院大学

8月

日程	時間	行事名	場所
23日(月) -27日(金)		核融合科学専攻 夏の体験入学	核融合科学研究所
http://soken.nifs.ac.jp/taiken/index.html			
24日(木)		JSPS サマープログラム2010報告会	ホテルパシフィック東京

<基盤機関の行事>

6月

日程	時間	行事名	場所
3月25日(木) -6月22日(火)		水の器—手のひらから地球まで	国立民族学博物館 企画展示場 A
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/water/			
3月25日(木) -6月29日(火)		伊勢の染型紙—映像と実物にみる匠の技—	国立民族学博物館 本館展示場内
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/ise/			
4月27日(火) -6月20日(日)		第3展示室:紀州徳川家伝来の楽器—琵琶—	国立歴史民俗博物館
3日(木)	10:00-16:00	ロバスト推測 ~外れ値への対処方法~	統計数理研究所 セミナー室5
http://www.ism.ac.jp/lectures/22b.html			
3日(木)	19:00-20:30	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第1回「多言語世界の扉を開く翻訳技術 —人間の翻訳と機械の翻訳は何が違うのか?—」	学術総合センター 2階一橋記念講堂
http://www.nii.ac.jp/shimin/			
3日(木) -4日(金)		国立情報学研究所オープンハウス2010 情報学—Next 10Years→ (国立情報学研究所創立10周年記念イベント併催)	学術総合センター
http://www.nii.ac.jp/openhouse/			
5日(土)	13:30-16:40 開場:13:00	みんなく映画会 昭和30年代の海外エクスペディション映画 「民族学者とヒマラヤ、南極」 「南極大陸」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/movies100424-0605.html			
6日(日)	14:30-15:30	第162回みんなくウィークエンド・サロン「扇を通してみるオセアニアの世界」★「オセアニア学会賞」受賞	国立民族学博物館 オセアニア展示場
http://www.minpaku.ac.jp/30th/salon2010.html#162			
10日(木) -11日(金)	10:00-16:00	Rによる標本調査データの分析	統計数理研究所 講堂
http://www.ism.ac.jp/lectures/22c.html			

11日(金)	19:30-20:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/index.html		
12日(土)	14:00-16:00	第318回歴博講演会 「歌川派版木からみる錦絵の色と技術」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html		
12日(土)	13:30-15:00	地球研・市民連携ワークショップ(2)「びっくり!あなたの水もミネラルウォーター」	国立民族学博物館 2階 第5セミナー室
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/water/event.html		
12日(土)	12:00-15:30	MMP「点字教室」	国立民族学博物館 1階エントランスホール(無料ゾーン)
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#tenji		
12日(土)	10:00-18:00	研究フォーラム「日本の移民言語と移民言語 研究の課題と展望」	国立民族学博物館 第4セミナー室
13日(日)	13:30-15:15	吹田市制施行70周年記念事業:講演会+ ワークショップ「水でつながる人とモノ」吹田 の三名水から水環境を考える	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/water/event.html		
13日(日)	1回目: 11:00-11:20 2回目: 15:30-15:50	企画展ギャラリートーク	国立民族学博物館 企画展「水の器-手のひら から地球まで」会場(企画展 展示場A)
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/water/event.html		
15日(火)	14:30-15:30	「伊勢の染型紙-映像と実物にみる匠の技-」 関連ギャラリートーク	国立民族学博物館 本館展示場内
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/ise/		
19日(土)	13:30-15:00 開場:13:00	第385回みんなぱくゼミナール 「北タイの精霊ダンス」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html		
20日(日)	10:15-17:00 開場:10:00	音のカー夏のみんなぱくフォーラム 2010年関 連イベント「音楽の祭日2010」	国立民族学博物館 特別展示館1階等
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fetedelamusique10/		
26日(土)	13:30-15:30	第135回くらしの植物苑観察会 「農事にかかわる植物たち」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		

26日(土)	19:30-20:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/index.html			
26日(土)	14:00-16:15	国際研究フォーラム 国立民族学博物館機 関研究「マテリアリティの人間学」文化遺産 の返還とその再生ーアラスカ州コディアク島 の仮面をめぐるー ジェイムズ・クリフォード(カリフォルニア大学 サンタ・クルーズ校特別功労教授)講演	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/research/fr/100626.html			

7月

日程	時間	行事名	場所
9日(金)	19:30-20:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/index.html			
9日(金)	11:00-17:45	統計数理研究所オープンハウス 「知を結ぶ最先端科学-統計数理」	統計数理研究所
10日(土)	14:00-16:00	第319回歴博講演会 「アジアの境界を越えて」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
7月13日(水) -9月12日(日)		企画展示:アジアの境界を越えて	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html			
14日(水)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第2回「計算しない数学ー意外と身近な離散数 学とは?ー」	学術総合センター 2階中会議場
http://www.nii.ac.jp/shimin/			
17日(土)	13:30-15:00 開場:13:00	新音楽展示関連第386回みんなくゼミナ ール 「聖人の力を伝えるガムラン」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html			
18日(日) -20日(火)	18日: 10:30-17:30 19日: 10:30-18:00 20日: 10:30-15:00	国際シンポジウム「グローバル化と南アジア 都市社会の変容(仮題)」	国立民族学博物館 第4セミナー室
22日(木) -23日(金)	10:00-15:00 (受付時間)	夏休みジュニア天文教室	国立天文台 三鷹キャンパス

23日(金) -25日(日)	23日: 11:00-19:30 24日: 10:00-17:00 25日: 10:00-18:00	研究フォーラム「ビジネスと人類学の国際フォーラム」	国立民族学博物館 第4セミナー室・第5セミナー室
24日(土)	13:00-17:00	第75回歴博フォーラム 「アジアの境界を越えて」	新宿明治安田生命ホール 主催:国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html			
24日(土)	13:30-15:30	第136回くらしの植物苑観察会 「江戸の変化朝顔」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c			
24日(土)	19:30-20:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/index.html			

8月

日程	時間	行事名	場所
8月3日(火) -8月29日(日)		くらしの植物苑特別企画 「伝統の朝顔」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c			
5日(木)	18:30-19:45	平成22年度 国立情報学研究所 市民講座 第3回「プログラミングの科学 ー積み木のようにソフトウェアを作るには?ー」	学術総合センター 2階中会議場
http://www.nii.ac.jp/shimin/			
7日(土)	14:30-16:30	歴博映画の会	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html			
9日(月) -12日(木)	10:00-16:00	公開講座 「多変量解析法」	統計数理研究所 大会議室
http://www.ism.ac.jp/lectures/22d.html			
14日(土)	14:00-16:00	第320回歴博講演会 「3~5世紀東アジアの国際交渉」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
14日(土)	11:00-12:00	歴博探検「れきはくの朝顔」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/kids/explore.html			
21日(土)	13:30-15:00 開場:13:00	新音楽展示関連第387回みんなくぜミナール 「主張する太鼓」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar10.html			

25日(水) -26日(木)	9:30-16:00	公開講座 「極値統計学」	統計数理研究所 セミナー室5
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22e.html		
28日(土)	10:00-12:00	第137回くらしの植物苑観察会 「芸をする朝顔」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
30日(月) -31日(火)	10:00-16:00	公開講座 「多様性の統計数理」 -生物群集の多様性の話題から-	統計数理研究所 大会議室
	http://www.ism.ac.jp/lectures/22f.html		

<教員の受賞情報等>

高エネルギー加速器研究科

加速器科学専攻

○ 山本明 教授

超伝導科学技術賞特別賞 受賞

複合科学研究科

情報学専攻

○ 杉本晃宏 教授

電子情報通信学会平成21年度論文賞 受賞

先導科学研究科

生命共生体進化学専攻

○ 及川昭文 教授

日本情報考古学会賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第 25 号をお届けします。

6 月になりました。木々の新緑が一日ごとに色濃くなっていきます。ついこの間まで満開だったツツジはいつのまにか色あせて、今は黄緑、緑、深緑などさまざまな緑に彩られています。緑のグラデーションの中から初夏の日射しがきらめいています。

さて、今月号は高エネルギー加速器研究機構のシンポジウム及び新しい実験の紹介が掲載されています。各基盤機関で実施されたイベントや新たな研究成果などの情報を提供いただければと思いますのでご協力をお願いいたします。

また、葉山では長倉初代学長を囲む会が開催されました。総研大創設の理念や当時の基盤機関のやりとりなどが語られ、大学として変わらない、変わってはならないものと、時代とともに変わっていくものがあり、それらを見極めていくことが大事であるということを改めて認識しました。

〔総務課〕

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2010 年 6 月 9 日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2010 SOKENDAI